



※本リリースは株式会社協和エクシオと株式会社 WHERE が共同で配信します。重複して配信されることがありますが、ご了承ください。

2016年8月4日(木)

協和エクシオとWHERE、大阪市を流れる東横堀川での 観光情報配信サービスの提供と公共beacon(ビーコン)の利活用に関する 実証実験に参加

～観光船を利用する国内外の方々に向けた、公共 beacon 技術による観光情報配信の実現～

株式会社協和エクシオ
株式会社 WHERE

株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典）と、当社の子会社で当社グループが推進する『G 空間ビジネス^{※1}』事業における中核会社の株式会社 WHERE（本社：東京都千代田区、代表取締役：丸田 一）は、このたび、一般社団法人水都大阪パートナーズ（事務局：大阪府大阪市、代表理事：高梨日出夫）の主導のもと実施する、大阪市内を流れる東横堀川での観光情報配信サービスの提供と公共 beacon（ビーコン）^{※2}の利活用に関する実証実験に参加します。

実証実験の期間は 2016 年 8 月 4 日から 2017 年 2 月 28 日までの 7 カ月間です。

※1 G 空間ビジネス…屋内外の空間測位と地図情報を組み合わせて創出されるビジネス

※2 beacon(ビーコン)…小電力の識別信号発信機

今回の実証実験は、2020 年の東京オリンピックに合わせて、「おもてなしナンバー 1 都市！水都大阪！」の実現を目指す水都大阪パートナーズが、2014 年度より進めている、大阪の魅力を国内外の方々へ配信することを目的とした個人旅行者向けおもてなし事業の実証実験の第 3 弾で、大阪を代表する「東横堀川」に焦点を当て、特に観光船に乗船された観光客の皆様へ、東横堀川の魅力や歴史をアプリで提供することを目指すための実証実験です。協和エクシオおよび WHERE は、東横堀川の河川上（船内）での観光情報アプリの利用を可能にする beacon 設置のための設計、施工、電波試験およびガイドアプリ開発などの技術協力を行います。

協和エクシオでは、情報通信インフラの構築をはじめとするエンジニアリングソリューション事業に加え、通信キャリアインフラ工事で培ってきた電波空間設計・施工技術を融合させた『G 空間ビジネス』の事業を、WHERE を中核会社にグループ全体で推進しておりますが、今回参加する実証実験においても、beacon 技術の実用化に向けた取り組みと位置付け、積極的に取り組んでまいります。

実証実験の特徴、概要などは以下の通りです。

【今回の実証実験について】

＜これまでの実証実験における課題および今回の実証実験の背景＞

水都大阪パートナーズでは、これまでに「大阪の魅力配信事業」ならびに「来阪観光客の動向調査事業」として、街歩きアプリと GPS 機能を用いた 2 度の実証実験を行っています。その結果、高架下や地下など GPS が利用できない場所や精度の悪い場所では期待する効果が得られない、また魅力の発信が特定な業者のみの発信となってしまう、公共性の確保などの課題が明らかになりました。そこで、それらの課題を解決する方法として、今回は下記の実証実験を行います。

○高架下河川など GPS が利用できない場所での情報配信の実証実験

高架下や地下街など GPS が届きにくい場所に beacon を配置することで、屋内外どこにいても利用者の位置情報を取得することが可能になります。そこで、阪神高速の真下に位置する東横堀川の両岸に beacon を配置し、「水都大阪アプリ」で、利用者の現在地を取得、それをもとに川や町に関連する情報発信を行う実証実験を実施します。

○公共空間に設置された beacon の利活用の検討

東横堀川のような公共空間に複数の beacon を設置し、それら beacon の情報を公開することで、1 つのアプリに留まらず、不特定多数のアプリなどに活用する実証実験を実施します。

【実証実験の概要】

＜実施場所＞ 東横堀川全域



東横堀川(ひがしよこぼりがわ)

全長約 3 キロメートルの川で、現在は阪神高速 1 号環状線の経路に利用されており、川に蓋をするように高架橋が覆い被さっています。しかしながら、水都に関する建造物も多く、大阪の歴史を色濃く残している地区でもあります。

現在は東横堀川水辺再生協議会が東横堀川の魅力の配信を行われており、実証実験を行うには最適な場所となっています。

＜実証実験内容＞

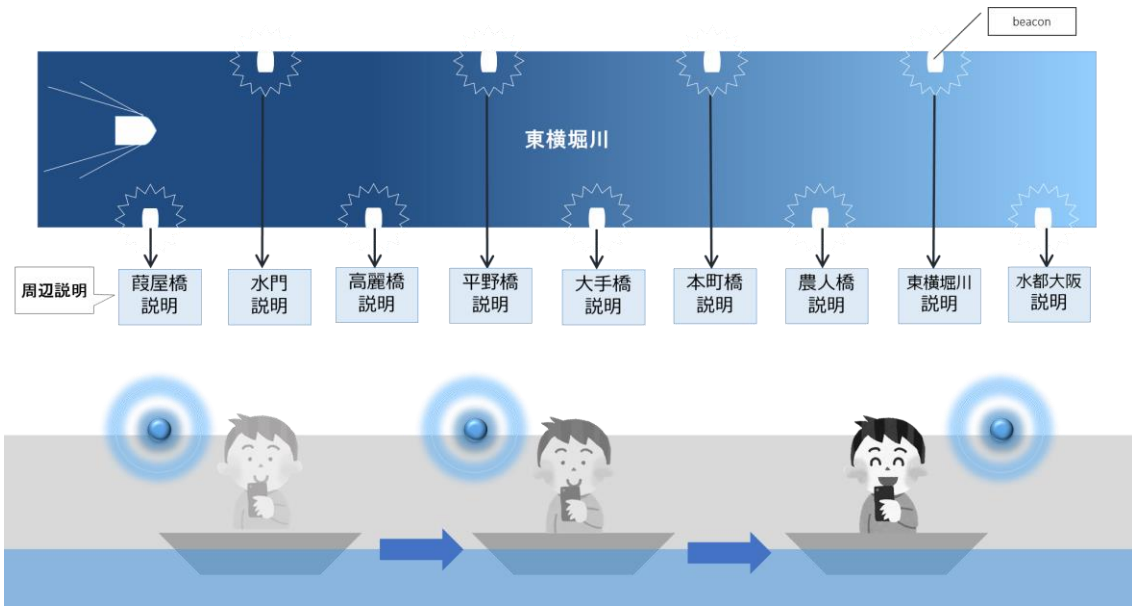
●beacon 設置場所

東横堀川の護岸 9 カ所に各 2 個、計 18 個の beacon を設置します。

(葭屋橋、高麗橋、平野橋、大手橋、本町橋、農人橋、久宝寺橋、九之助橋)

●コンテンツ紹介の仕組み

利用者が観光船などに乗り、beacon 設置個所に近づくと、利用者のスマートフォン上にあるアプリが beacon 電波を受信し利用者の位置を取得します。アプリは場所ごとに決められたコンテンツ（東横堀川水辺再生協議会などから提供）を画像、音声などで紹介します。



●アプリ対応言語

観光客へのおもてなし度向上を目指して、

○画像は日本語・英語・中国語（簡体・繁体）・韓国語・タイ語・インドネシア語の
7言語

○音声は日本語・英語の2言語
で、それぞれ対応します。

●アプリダウンロード方法



【実証実験期間】

2016年8月4日 ～ 2017年2月28日（約7カ月）

※アプリのリリース時期により開始がずれる場合がございます

<技術提供会社>

株式会社協和エクシオ：実証実験の beacon 設置設計・設置工事・電波試験
株式会社 WHERE ： beacon を用いたガイドアプリの制作、測位試験

<観光情報提供>

東横堀川水辺再生協議会
大阪商工会議所地域振興部

<舟運協力>

OCC（大阪シティクルーズ協会）各社

【実証実験全般に関する問い合わせ先】

一般社団法人 水都大阪パートナーズ 担当 大和 TEL：06-6131-8288

●本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 協和エクシオ 総務部 CSR・広報室 担当：望月 政広

〒150 - 0002 東京都渋谷区渋谷 3 - 29 - 20

電話：03 - 5778 - 1075（直） FAX：03 - 5778 - 1228

●本資料に関する製品・サービスのお問合せ先

株式会社 WHERE 管理部 担当：青木 貴弘

〒102 - 0093 東京都千代田区紀尾井町 3 番地 29 号 紀尾井町アークビル 4 階

電話：03-6261 - 5722 FAX：03 - 6261 - 5725